

## 単元名 【旧】大きく なあれ わたしの 野さい

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 野菜を育てる活動を通して、野菜も自分たちと同じように生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。
- (2) 野菜を育てるための準備や世話を工夫したり、野菜の成長の様子や自分の取組を絵や文などで表現したりすることができる。
- (3) 野菜の成長を楽しみにしながら、大切に野菜の世話をしようとする。

## 標準的な展開例

02060105\_001

【準備等】実物の野菜、図鑑、園芸書、野菜の種、苗、肥料、植木鉢、プランター、くわ、移植ごて、じょうろ、支柱、ひも、観察カード、画用紙等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 自分が育てる野菜を決め、育て方を調べる。</p> <p>○知っている野菜を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマト ・キュウリ</li> <li>・オクラ ・トウモロコシ</li> <li>・エダマメ ・ナス 等</li> </ul> <p>★自分が育てる野菜を決め、育てるための計画を立てよう</p> <p>○野菜を育てる計画を立て、めあてをもつ。</p> <p>○自分で育ててみたい野菜について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんが大好きなエダマメを育てて、食べてもらいたいです。お父さんが「塩茹でするとおいしいよ」と言っていました。</li> <li>・「ミニトマトは次々実るから楽しいよ」と、通学団のお兄さんが教えてくれました。たくさん収穫できるミニトマトを育てます。</li> </ul> <p>○苗の植え方や野菜の育て方を、図鑑や園芸書などで調べる。</p> <p>2, 3 土づくりをして、自分が育てる野菜の苗を植え、気付いたことを記録カードにかく。</p> <p>★野菜の苗を植えよう</p> <p>○野菜名人に教わりながら、みんなで協力して土づくりや畝づくりをする。</p> <p>○野菜の苗の植え方を確認する。</p> <p>○野菜の苗を植える。</p> <p>○苗植えの様子や気付いたことなどを記録カードにかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトの実がないのに、トマトと同じようなにおいがしました。毎日世話をするから、早く実がなっほしいです。</li> <li>・わたしのミニトマトと〇〇さんのキュウリでは、葉の形も大きさも違いました。どんな花が咲くのか楽しみです。</li> </ul> <p>4 今の野菜の様子を観察して、今後の世話の仕方を計画する。</p> <p>○今の野菜の様子を観察し、感じたことを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発達段階を考慮した図鑑や園芸書を用意しておき、児童が自分の力で調べられる環境を整えておく。</li> <li>・教科書P.9の写真を見ながら、知っている野菜をクイズ感覚で楽しく挙げさせる。</li> <li>・昨年の2年生が育てていた野菜を想起させたり、実物の野菜を見せたりして、児童の興味や関心を高める。</li> <li>・収穫後のことを考えた上で栽培活動を行わせ意欲が持続できるようにさせる。</li> <li>・地域の気候や土壌、学校の畑の広さ、日当たり、水はけ、低学年児童の技能などを考慮して、栽培に適した野菜をリストアップしておく。</li> <li>・教科書P.20「やってみよう」を活用し、夏野菜と冬野菜について知らせ、これから育てる野菜は夏野菜であることを押さえる。</li> <li>・教科書P.11, 13, 15の右端の野菜の成長を表した写真を並べて見させたり、わらべうた「お寺の和尚さん」を歌ったりして、栽培活動への興味や関心をもたせる。今後、この写真については、野菜の成長の過程を確認するのに使っていくとよい。</li> <li>・教科書P.18「なえのうえ方」の活用を図る。</li> <li>・種から栽培することも考えられる。</li> <li>・苗の植え方や世話の仕方を、家の人や上級生にも聞いておくように声がけをする。</li> </ul> <p>【評】育てる野菜を決めたり、育て方を調べたりする活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の農家の方など、野菜の栽培に詳しい人（野菜名人）の指導が随時受けられるようにしておくことよい。</li> <li>・可能な範囲で児童にも土づくりに参加させるとよい。</li> <li>・土を素手でよくもみほぐしたり、土の中に残っている根などを取り除いて状態をよくしたり、腐葉土や堆肥を加えて、酸性土壌を改良したりするとよい。</li> <li>・教科書P.18の「なえのうえ方」を使って確認する。P.19の「いろいろなそだて方」を活用し、麻袋、米袋、牛乳パック、ペットボトルで育てる方法もあることを知らせる。</li> <li>・自分の苗は、必ず自分で植えさせ、愛着をもって、継続的に野菜の世話を続けることができるようにさせる。</li> </ul> <p>【評】土づくりや苗を植える活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科への接続を意識して、葉や茎の色や形、大きさ、手触り、においなど、諸感覚を使って観察する視点を与える。</li> <li>・国語「かんさつ名人になろう」と関連付けて指導するとよい。また、適宜記録カードに観察したことをかくよう指示する。</li> <li>・野菜の成長への思いや願い、他の野菜と比べて気付いたことをかくように声がけをする。</li> </ul> <p>【評】記録カードへの表現を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支柱が必要になってきた頃に、本時の活動を行う。</li> </ul>

- ・背が高くなってきて、ミニトマトが倒れそうです。
- ・ぼくの手ひらよりも大きな葉っぱがたくさんあります。でも、虫に食われている葉っぱもあるので心配です。

★野菜をもっと元気にする世話の仕方を考えよう

- 世話の仕方を考えて伝え合う。
  - ・アサガオを育てたときのように、支柱を立てたらいいいと思います。
  - ・どうやったら虫が付かなくなるか、上級生や野菜名人さんに聞いてみたいです。
  - ・肥料は足りているかどうか知りたいです。
- 支柱を立てたり、脇芽を摘んだりする。

5, 6 必要に応じた世話をしたり、観察したことや世話をしたことを記録カードにかいたりする。(常時活動を含む)

★もっと大きく元気に育つように野菜の世話をしよう

- 野菜の成長に応じて、必要な世話をする。
  - ・水やり
  - ・間引き
  - ・土寄せ
  - ・草取り
  - ・追肥
  - ・脇芽摘み 等
- 野菜の変化や成長、世話の仕方について気付いたことを記録カードにかく。
  - ・キュウリのつるが伸びてきたので支柱を立てました。アサガオのようにつるが支柱につかまって、やっぱりゆらゆらになりました。
  - ・黄色い花が咲きました。ここにミニトマトができるのかな。おいしいミニトマトができるように、これからも毎日水をあげたいです。
  - ・キュウリの葉っぱは、ミニトマトの葉っぱよりも大きいです。キュウリもミニトマトも、葉っぱや茎に毛が生えています。
- 野菜の変化や成長、世話の仕方について気付いたことを伝え合う。

7 収穫の時期を知り、適宜野菜を収穫して、気付いたことを記録カードにかいたり、伝え合ったりする。(常時活動を含む)

★ぼく、わたしの野菜を収穫しよう

- 野菜を収穫する。
  - 野菜を収穫したり、食べたりしたことを記録カードにかいて、成就感や充実感を伝え合う。
    - ・ミニトマトが8個とれました。甘くてとてもおいしかったです。おじいちゃんにあげたら喜んでくれたのでもっと世話をがんばって、たくさん収穫したいです。
    - ・キュウリがとれました。触るとちくちくしています。お母さんが、「がんばって育てたね」と褒めてくれたので、嬉しかったです。
- 8, 9 記録カードを活用して、これまでの栽培活動を絵本にまとめ、紹介し合う。

★ぼく、わたしの野菜のことをまとめて紹介しよう

- 絵本にまとめたいことを伝え合う。
  - ・ミニトマトの成長の様子をまとめたいです。
  - ・キュウリの世話でがんばったことをまとめたいです。

- ・毎日の世話は、始業前や休み時間など、常時活動の中で行わせ、野菜の成長に合わせて適宜生活科の時間で野菜の世話をする時間をとるようにする。
- ・野菜の成長の様子と合わせて、世話をしている困っていることも伝え合わせる。

- ・1年生で花を栽培したときのことを想起させる必要な世話を考えさせるとともに、水やりや草取りなど、毎日必要な世話をする意欲も高めさせる。
- ・教科書P.19の「せわ」を活用して、野菜の世話の仕方を確認する。
- ・脇芽とは、葉や茎の付け根から出る芽のことで、脇芽を摘むことで、大きくておいしい実になることを伝える。
- ・支柱と植物を結ぶひもは緩めにしておき、植物の成長を妨げないようにさせる。
- 【評】世話の仕方を考える活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。
- ・記録カードを教室に掲示したり、朝の会のスピーチで野菜の様子について発表したりして個々の気付きを全体で共有できるように計画するとよい。

- ・教科書P.19を参考に、水やりや草取り、土寄せ、追肥などの世話を継続して行わせる。
- ・教師はこまめに野菜の様子を観察し、児童それぞれの野菜に必要なアドバイスをします。
- ・野菜の成長に合わせて、日常の世話のポイントを野菜名人に問い合わせられるようにしておく。
- 【評】世話をする活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・教科書P.11,13,15の右端の野菜の成長を表した写真を使って、自分の野菜がどの成長段階かを捉えさせたり、野菜による葉の形や色、実の付き方を比べさせたりして、3年生からの理科の学習につながるようにする。
- ・野菜の変化や成長への気付きや、自分の力で工夫して栽培しようとする意欲など、自分と野菜のかかわりが見えるように意識して記録カードがかけられるように声がけをする。

- 【評】記録カードへの表現や伝え合う活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。
- ・野菜によって収穫の時期が異なることや、衛生面、安全面への配慮から、収穫した野菜は家庭で児童とともに調理し、食べてもらうように保護者に協力を依頼しておく。
- ・収穫時期は、一人ずつ異なるので、熟していない野菜と熟した野菜とを見分けながら、休み時間などを使って、各自で収穫させる。
- ・収穫前に野菜を観察させ、実の付き方に気付かせる。
- ・野菜を食べた感想や家の人からの言葉を、記録カードに表現させ、成就感や充実感をもたせる。
- 【評】記録カードの表現や伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・絵本の他にも教科書P.114,115の「べんりてちょう」のように、新聞やポスター、ペーパーサートなどで表現させる方法も考えられる。
- ・児童の実態に合わせた方法を取り入れたい。
- ・教科書P.11,13,15の右端の野菜の成長を表した写真を使って、自分の野菜の成長を時系列で表現する方法に気付かせる。
- ・育てて発見したこと、楽しかったことや嬉し

○ これまでかきとめてきた記録カードから数枚選び、絵本をつくる。

○ 絵本を見せながら、これまでの栽培活動の中で、一番伝えたいことを紹介し合う。

- ・ 肥料をやったり、脇芽をとったりして、世話をするのが大変でした。でも、ミニトマトがたくさんとれて嬉しかったです。
- ・ キュウリは、水をやらないとすぐに元気がなくなってしまいます。だから、毎日忘れないように水やりをしました。とても大きなキュウリができました。お母さんに「おいしい」と言ってもらえて嬉しかったです。
- ・ トマトづくり名人のおじさんに何度も聞いて育て方を教えてもらいました。おじさんのつくったトマトのように、甘くて果物のようなトマトができました。おじさんのような野菜づくり名人に私もなりたいです。

かったこと、野菜の命を育てる苦労などを振り返らせて、まとめたいことを考えさせる。

- ・ 絵本の最後のページに、栽培活動全体を振り返って、収穫までの野菜への思いや、工夫して世話をする楽しさや喜び、命を育てる大変さなどをかき、紹介し合う際に使えるようにさせる。
- ・ 1年生や野菜名人などに自分の野菜のことを伝える活動も考えられる。
- ・ 種類の異なる野菜を育てた児童同士でグループをつくり、その育て方や成長の仕方を紹介し合う場を設けることで、野菜の育ち方には共通点があることに気付かせる。
- ・ 世話ができるようになった自分の成長に気付いている児童を取り上げ、称賛し、全体に広げるとよい。
- ・ 野菜名人にお礼の手紙をかいて、感謝の気持ちを届けるとよい。

【評】絵本の内容や紹介し合う活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】